

東京を代表する大型デザインイベント！今年のテーマは「環(めぐ)るデザイン」
「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2022」
 ～国内外で活躍する注目の建築家・永山祐子氏をはじめ様々なクリエイターが参加！～
2022年10月14日(金)～11月3日(木・祝)

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は2022年10月14日(金)から11月3日(木・祝)までの期間、秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2022(東京ミッドタウン デザインタッチ)(以下 DESIGN TOUCH 2022)」を開催いたします。本イベントは“デザインを五感で楽しむ”をコンセプトに15回目の開催を迎えます。



今年のテーマは、「環るデザイン - Design for Sustainable Future -」。人々の生活が大きく変化し新しい価値観が次々と生まれている今、本当に大切にしたいものをこの先も残していくためには何ができるのか。持続可能な未来へのヒントを、デザインを通して探っていきます。

DESIGN TOUCH 2022 の見どころ

- ✓ 建築家・永山祐子氏が設計し、アップサイクル素材を活用した大型インスタレーションが登場！
- ✓ “持続可能な未来”について、デザインを通して体感！
 ↳ 未来の都市型農業を提案する実験的インスタレーションやミッドタウン・ガーデンに溶け込む花のオブジェなど
- ✓ 見て聞いて触って考える。ワークショップやトークセッションなど多様なコンテンツが充実。
- ✓ DESIGNART TOKYO など様々なイベントが同時開催。

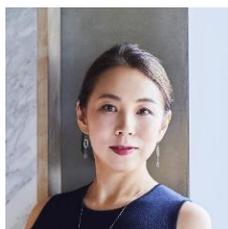
建築家・永山祐子氏による海をモチーフにした大型インスタレーション「うみのハンモック」

遠くから眺めると大きな波や小さい波が広がる約 36m×約 12m の大型インスタレーション。波のような連なりはハンモックで構成されており、休んだり、遊んだりすることができます。ハンモックの素材には、廃棄された魚網をアップサイクルした糸を利用。海洋汚染や生態系への大きな影響が問題となっている海洋ゴミを循環のデザインにのせることで、“めぐる”モノとして人々につなげます。

【タイトル】 うみのハンモック
 【期間】 10月14日(金)～11月3日(木・祝)
 【時間】 11:00～21:00
 【場所】 芝生広場



▲波に揺られるような体験で大人も子供も楽しめる空間(イメージ)



建築家・永山祐子

1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生活美学科卒業。1998年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事、「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「丘のある家」「豊島横尾館」「女神の森セントラルガーデン」「ドバイ国際博覧会日本館」など。JIA 新人賞(2014)、山梨県建築文化賞、東京建築賞優秀賞(2018)、照明学会照明デザイン賞最優秀賞(2021)など。現在、「東急歌舞伎町タワー」(2023)、東京駅前常盤橋プロジェクト「TOKYO TORCH」などの計画が進行中。東京ミッドタウンでは2021年より「TOKYO MIDTOWN AWARD」アートコンペ審査員を務める。 <https://www.yukonagayama.co.jp/>

～クリエイターメッセージ～

私たちの身の回りにある“モノの循環”について考えたとき、海洋ゴミが浮かびました。海に囲まれた日本の海岸には遠く海外からゴミが流れ着き、美しい海の表面はマイクロプラスチックに覆われています。大きな波を描くハンモックは、海ゴミの漁網を再利用したオリジナルの網で作られていて、展示が終わると再利用され、様々なモノに生まれ変わります。ハンモックに揺られながら、私たちの生活を取り巻く自然環境に思いを巡らせてみてください。

新たな農業の可能性を探る“都市を耕す”インスタレーション 「F.A.R.M.—Future Agricultural Rights for Mankind—」

農園が垂直的立体展開するような都市型農業の可能性を切り拓き、人々それぞれの手へ農業という営みを届けるための実験的インスタレーション。栽培基盤やエネルギーなど、農業に必要なとされる様々な要素を分解しユニット化。それらをブロック的に組み合わせ、積み上げていくことで、農業という循環系システムを簡単に構築できるようデザインされています。

【タイトル】 F.A.R.M.—Future Agricultural Rights for Mankind—
【期間】 10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【時間】 11:00～21:00(予定)
【場所】 ミッドタウン・ガーデン



▲ブロック化された栽培ユニットによる組合せ自由な立体農業(イメージ)

建築家集団/デザインユニット・ENERGY MEET

蘆田暢人(右)、オオノシ・タクヤ(左)、Alvaro Conti の3人の建築家が2010年に立ち上げたデザインユニット。デザインを通してエネルギーと社会をつなげることをテーマに、日本とタイを中心に活動している。自然エネルギーを活用した建築やまちづくりからインスタレーション、「ENERGY MEET MAGAZINE」の発行など活動は多岐にわたる。代表作に「ZiIB / Zero Impact Information Billboard」「FloES / Floating Energy Station」などがある。



～クリエイターメッセージ～

農業は循環のデザインです。太陽エネルギー、炭素、窒素、酵素などの循環をコントロールし、私たちの生命をつなぐ作物へと変換するプロセスです。現在、世界では食糧増産の課題がより深刻になってきています。今後も続くであろう世界的な人口増加に対して農業分野は大きな注目を浴びており、「積極的な農地確保」と「持続可能性」の両立が不可避となっています。この作品を通して、私たちみんなが農業への意識を持ち、積極的に参加できるようなきっかけを与えられることを目指しています。

環境と繋がり、環境に溶け込むインスタレーション「as it is. -equilibrium flower-」

ミッドタウン・ガーデン内に約2,000個の花のようなオブジェが登場します。デザインを通して、工業的な素材をあたかもそこにあったかのようなオブジェへと変換。さらにミッドタウン・ガーデンの植物で草花染めをすることで、土地との結び付きも与え、工業的な素材に“新たな意味”を持たせたインスタレーション。周囲の環境と共鳴しながら咲き誇る姿を体感することで、今回のテーマである“めぐる”を考えるきっかけを投げかけます。



▲ミッドタウン・ガーデンの環境と調和しながら存在する花のようなオブジェ
夜には約2,000個のオブジェがほのかに灯る幻想的な空間をお楽しみいただけます(イメージ)

【タイトル】 as it is. -equilibrium flower-
【期間】 10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【時間】 11:00～21:00
【場所】 ミッドタウン・ガーデン



TAKT PROJECT(代表: 吉泉 聡)

デザインによる新しい概念の創出と具現化を行うDESIGN THINK + DO TANK。広く世界を俯瞰し、静かに自己の声にも耳を澄まし、手を動かし感じながらつくる事で、ロジカルな思考だけでは到達できない仮説を構想する「新しい知性」としてのデザインを志向。自主的なリサーチプロジェクトから生まれる独自のデザイン理論を携え、スタートアップからグローバルブランド、教育・研究機関、行政など、幅広いクライアントと共に、次代の概念を耕す多様なプロジェクトに日々取り組む。

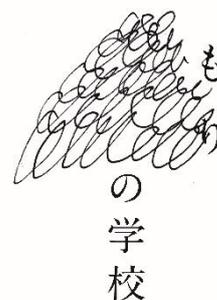
～クリエイターメッセージ～

その土地と結びつくことで生まれ、環境と美しく共鳴するデザインについて考えています。この作品では、独自に開発した「熱で硬くなる生地」に部分的に熱をかけ、硬くて柔らかい、花のようなオブジェを生み出しました。デザインが生み出すものは、あくまで工業的な素材も含む「人工物」ですが、その土地と結びつく「何か」を獲得する事で、その環境と繋がり「環るデザイン」へと変わっていくように思います。この場所でしか生まれ得ない表現を纏うインスタレーションを、ぜひご体感ください。

＼布で花を作り、草花で染めるワークショップ開催／
「対話する様につくる」

クリエイターが先生になり、五感を刺激するような特別授業「森の学校」青空教室を期間中に開催。今回は、熱で固まる特別な生地を用いて、花のオブジェ「equilibrium flower」をつくり、東京ミッドタウンの草花で染めて自分だけの特別なオブジェをつくれます。

【期 間】	10月23日(日)
【時 間】	13:30～15:00
【場 所】	ミッドタウン・ガーデン ※雨天の場合はプラザ B1
【講 師】	吉泉 聡先生(TAKT PROJECT 代表)
【料 金】	無料
【定 員】	20名
【申 込】	Peatix より事前申込制
【主 催】	六本木未来会議



▲草花染めイメージ

動物の心拍に合わせて明滅する光を通して、生命の多様性が感じられるインスタレーション「Life Beat」

地球では、1つの種が存在するだけで生命が循環することは不可能。多様な生命が関係し合うことで、生態系は初めて持続することができる。そんな現代社会では可視化されにくい、生命の共存によって保たれる命脈を感じることでできるインスタレーションです。

哺乳類はどの動物でも、一生の間に心臓は20億回打ち、小さな生きものの脈は人よりもずっと速く、逆に大きいものだと脈が遅くなります。それらの脈は多様性の象徴であると同時に、生命の繋がりの証であるようにも感じられます。

この作品では、動物ごとの心拍のリズムでライトを明滅させ、作品全体が大きな光の集合体となり、それらが同一方向へ歩く様子から「人間単体ではなく多様な生物の関わり合いによって、生命が続いていく」ということを伝えます。



▲動物ごとの心拍のリズムで明滅する彫刻(イメージ)

【タイトル】	Life Beat
【期 間】	10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【時 間】	11:00～20:00
【場 所】	ガレリア 2F Lucien pellat-finet 横



CORNER(若田勇輔・金澤佐和子・田羅義史・岩崎有紗・長屋 弘)

アーティスト、デザイナー、テクノロジストからなる、創造の可能性を広げることを目的としたクリエイター集団。各々の分野を起点に、専門性にとらわれないアート制作を実験的に行なっている。「TOKYO MIDTOWN AWARD 2020」デザインコンペ グランプリ(若田・金澤)、他デザイン賞を多数受賞。

～クリエイターメッセージ～

一説によると、人が関わることによって生物の種の絶滅のスピードは、約一千倍から一万倍にも加速していると言われています。しかし人は目の前の暮らしのために、自然環境に与える影響を軽視したり、無視しています。私たちは様々な生物が関わりあうことによって成り立つ「生」の断片を、デザインの手で可視化し、巡り続ける生態系に思いを馳せるきっかけが作りたいと考えています。

＼参加クリエイターによるトークセッション／
DESIGN TOUCH Conference(デザインタッチカンファレンス)

各分野で活躍するクリエイター、デザイナー、企業が参加して、「デザイン」を軸に様々なテーマで講演やトークセッションを開催します。



▲左から永山祐子氏、ENERGY MEET、吉泉 聡氏(TAKT PROJECT 代表)

【期 間】	10月28日(金)～10月30日(日) ※全3日間
【時 間】	12:00～18:00(予定)
【場 所】	ミッドタウン・タワー4F カンファレンス
【料 金】	無料
【申 込】	Peatix より事前申込制 ※申込受付:9月中旬
【講 演 者】	永山祐子氏、ENERGY MEET、吉泉 聡氏(TAKT PROJECT 代表) 他(予定)
【協 力】	東京ミッドタウン・デザイン部

Salone in Roppongi

2013年よりミラノサローネなど海外で活躍する建築家やデザイナーなどクリエイターに焦点をあて、インスタレーションを中心に展示を行ってきた Salone in Roppongi を3年ぶりに開催。今回はデザインスタジオ YOY をフィーチャリング・アーティストを迎え、「水」をテーマに制作した新作プロダクトの展示を行ないます。

【期間】	10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【時間】	11:00～20:00
【場所】	ガレリア 3F IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC 前
【主催】	Salone in Roppongi 実行委員会
【協力】	東京ミッドタウン



YOY(デザインスタジオ)

小野直紀と山本侑樹によるデザインスタジオ。2011年に設立し、東京を拠点に国内外で活動。「空間とモノの間」をテーマに家具や照明、インテリアなどのデザインを行う。その作品は MoMA をはじめ世界中で販売され、国内外で多くの賞を受賞している。2015年より武蔵野美術大学非常勤講師/特別講師。<https://yoy-idea.jp/>

DESIGNART TOKYO 2022

東京を舞台に、世界中からインテリア、アート、ファッション、テクノロジー、フードなど多彩なジャンルをリードする才能が集結し、都内各所で展示を行う DESIGNART TOKYO。東京ミッドタウンでは「環るデザイン」をキーワードに、2組のクリエイターが制作した作品を展示します。

【期間】	10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【時間】	11:00～20:00
【場所】	ガレリア 2F Lucien pellat-finet 前、Aēsop 前
【主催】	デザイナーズトーキョー実行委員会
【協力】	東京ミッドタウン



「DESIGN TOUCH 2022」キービジュアル

「DESIGN TOUCH 2022」のキービジュアルには、JAGDA 新人賞(2022)受賞クリエイター竹田美織氏を起用。



竹田美織

多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業、2011年より資生堂クリエイティブ本部に所属。2021年独立。ビューティー系ブランドをはじめ、ファッションやジュエリーブランドのアートディレクション等を手掛ける。<https://www.mioritakeda.com>

～クリエイターメッセージ～

今年は環るデザインがテーマということで、人間にも自然にも等しく循環する水、そして水の脈をモチーフとしました。水も空気もすみずみに、淀みなく巡っていくことで、健やかに物事が営まれていく。そんな美しい循環がデザインによって育んでいけるのなら、これほど理想的なことはありません。

その他同時開催展覧会

TOKYO MIDTOWN AWARD 2022 受賞作品発表・展示

次世代を担うクリエイターを発掘・応援する TOKYO MIDTOWN AWARD も今年で 15 回目。計 1,481 点の応募作品の中から選ばれた、デザイン・アートコンペの本年度全受賞作品を発表・展示します。10 月 13 日(木)には授賞式の様子をライブ配信。第一線で活躍する審査員による熱い議論を重ねた末の審査結果、総評コメントの臨場感は必見です。

■ 受賞作品発表

【日 時】 10 月 13 日(木)16:30~17:30(予定)
アワード公式 Twitter からライブ配信します。
※審査結果は公式サイトでも発表します。
アワード公式サイト: <https://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>



■ 審査員

【デザインコンペ】 石上純也、伊藤直樹、えぐちりか、川村元気、中村勇吾
【アートコンペ】 大巻伸嗣、金島隆弘、クワクボリョウタ、永山祐子、林 寿美
※敬略称

■ 作品展示

【期 間】 10 月 13 日(木)~11 月 6 日(日)
【場 所】 プラザ B1 メトロアベニュー



▲昨年の展示の様子

「DESIGN TOUCH 2022」では TOKYO MIDTOWN AWARD 2020 デザインコンペグランプリ受賞者の若田勇輔・金澤佐和子が「環るデザイン」をテーマに新作《Life Beat》を発表！→詳細は P3へ

東京ミッドタウン・デザインハブ

「GOOD DESIGN EXHIBITION 2022」

2022 年度グッドデザイン賞の「ベスト 100」の展示を中心に、今年の全受賞作品を発表。会場内では、グッドデザイン大賞の候補である「ファイナリスト」も展示され、10 月 31 日(月)までは来場者もグッドデザイン大賞を決める投票に参加できます。来場の先着 1000 名様には、特典として限定ステッカーをプレゼント。今年の「グッドデザイン」を見て、さわって、体験しながら楽しめる展覧会です。

【期 間】 10 月 7 日(金)~11 月 6 日(日)
【時 間】 11:00~19:00
【場 所】 東京ミッドタウン・デザインハブ (ミッドタウン・タワー5F)
【料 金】 無料 ※混雑状況により入場制限の可能性あり
【主 催】 東京ミッドタウン・デザインハブ
【企画・運営】 公益財団法人日本デザイン振興会



GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA POPUP STORE

グッドデザイン賞が考える「よいデザイン」に囲まれた暮らしを提案するショップが期間限定で登場。目に留まり、心を惹かれた商品を手にする場を提供することで、その魅力をお伝えします。これからの心地よい暮らしをデザインする商品を、ぜひ見つけてください。

【期 間】 10 月 14 日(金)~11 月 3 日(木・祝)
【時 間】 11:00~21:00
【場 所】 ガレリア B1

サントリー美術館

「美をつくしー大阪市立美術館コレクション」

大阪市立美術館のコレクションは、日本・中国の絵画や書蹟、彫刻、工芸など幅広く、時代も紀元前から近代まで実に多彩です。本展では、同館でもそろって展示されることが滅多にない名品を館外で初めて一堂にご紹介します。

<https://www.suntory.co.jp/sma/>



21_21 DESIGN SIGHT

「クリストとジャンヌ=クロード "包まれた凱旋門"」 Christo and Jeanne-Claude "L'Arc de Triomphe, Wrapped"

現代美術作家クリストとジャンヌ=クロードの活動の根源と広がりにも焦点をあてた展覧会です。

<https://www.2121designsight.jp/>



FUJIFILM SQUARE

人間写真機・須田一政作品展「日本の風景・余白の街で」

国際的に高く評価されている、戦後日本を代表する写真家の一人、須田一政の作品展。1986年に富士フォトサロンで開催された須田一政の写真展「日本の風景・余白の街で」から約30点を新たに制作したカラープリントで展示します。

<https://fujifilmsquare.jp/>



長野・軽井沢 1982年
写真：須田一政 ©SUDA ISSEI Works

静岡・三島 1984年
写真：須田一政 ©SUDA ISSEI Works

とらや

第46回企画展 お米と和菓子

本展では和菓子の材料としてのお米に注目。うるち米・もち米という2種類のお米から、食感や見た目の異なる何種類もの米粉がどのように生まれ、和菓子にどう使用されるのか、全体像を一望できるお米マップや、オリジナル動画などを通してご紹介します。

<https://www.toraya-group.co.jp/>



▲イメージ

多摩美術大学 TUB

TUB 第20回企画展「デザイン人類学宣言！」

デザイン人類学とは何なのか、事例を挙げながら、最先端の研究を紹介します。会期中には、研究者・デザイナーによる関連トークイベントも開催予定です。

<https://tub.tamabi.ac.jp/>

TUB

「DESIGN TOUCH 2022」開催概要

【期 間】	10月14日(金)～11月3日(木・祝)
【場 所】	東京ミッドタウン各所
【主 催】	東京ミッドタウン

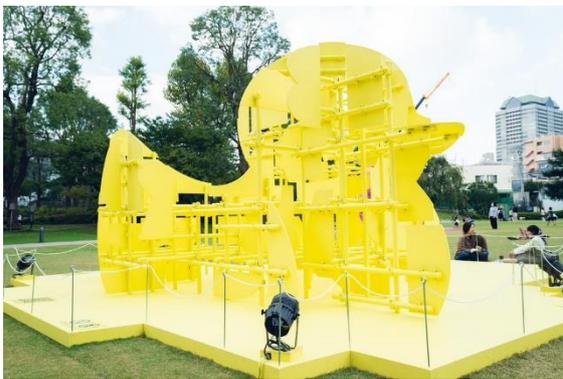
【DESIGN TOUCH 開催の目的】

東京ミッドタウンは 2007 年の開業当時から「“JAPAN VALUE”を世界に発信し続ける街」というビジョンを掲げています。ビジョンの根底のひとつに「CREATIVITY」があり、東京ミッドタウンへ訪れる人や働く人などに、デザインとアートを通じて独創性や知的想像力を高めてもらいたいという思いが込められています。また、東京ミッドタウンには「サントリー美術館」や 20 作品のパブリックアートなど施設内で楽しめる多くの「アート」があることに加え、日本で唯一のデザイン専門施設「21_21 DESIGN SIGHT」、デザインについてプロモーション・職能・研究教育という 3 つの異なる役割を担う機関が連携して運営するデザインネットワークの拠点「東京ミッドタウン・デザインハブ」など「デザイン」に特化した施設も有しています。街づくりを推進する上で、イベントを通して東京ミッドタウンの取り組みを発信するため 2007 年より「DESIGN TOUCH」を開始しました。

【DESIGN TOUCH とは】

「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトにインテリアやグラフィック、プロダクトはもちろん、ミュージック、フードなど文化を形成するもの全てを「デザイン」として捉え、それらを通して日常生活を豊かにすることを提案するイベントとして 2007 年から開催しています。2017 年からは「国内外の第一線で活躍するデザイナーや国内外で注目されるデザインが集結し、デザインの魅力や可能性を身近に体感できるデザインの祭典」をコンセプトとし、さらなる進化を続けていきます。

DESIGN TOUCH アーカイブはこちら <https://www.tokyo-midtown.com/jp/designtouch/>



▲2021 年開催の様子。建築・デザイン事務所の「noiz」や「YKK AP×鈴木啓太氏」によるインスタレーションのほか、様々な企業やクリエイターがそれぞれの考える「デザイン」を発信しました。

- ※ 各コンテンツの掲載情報は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ※ 最新情報はオフィシャルサイトをご確認ください。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止および天災等の状況により予告なく開催時間の変更・中止となる場合がございます。予めご了承ください。

東京ミッドタウンについて



東京ミッドタウンは、広大なグリーンと 6 つの建物からなる複合都市です。街にはさまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、緑地、美術館などの施設が集まっています。四季を感じるイベントで季節に寄り添い、いたるところに息づくデザイン・アートや「TOKYO MIDTOWN AWARD」が発掘した若き才能にふれて新たな発見を。そして街に根づくおもてなしで心が解きほぐされていく。それらを融合させることで訪れた人に、上質で心地よい場所と時間を提供することを目指しています。
<https://www.tokyo-midtown.com/jp/about/>

三井不動産グループのSDGsへの貢献について

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、つまり ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

※なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

目標11 住み続けられるまちづくりを
目標12 つくる責任つかう責任
目標17 パートナーシップで目標を達成しよう



■「三井不動産9BOX感染対策基準」について

当社グループでは、これまでも施設ごとに新型コロナウイルス感染対策を徹底してまいりましたが、今後新たな変異株が流行した場合においても安心して当社グループの施設をご利用いただくために、医学的・工学的知見に基づくわかりやすい感染対策が必須と考え、グループ共通の「三井不動産9BOX感染対策基準」を策定しました。当社グループはオフィスビル、商業、ホテル、リゾート、ロジスティクス、住宅等、多様な施設を展開しており、当社グループだけでなく社会全体で共有しやすい項目として提示することで、社会共通の課題解決に貢献したいと考えています。

当社は引き続き、安心・安全な街づくりを通して持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

※参考リリース：https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2021/1001_01/

三井不動産 感染対策基準



<掲載時の一般の方のお問い合わせ先>

東京ミッドタウン・コールセンター TEL: 03-3475-3100

東京ミッドタウンホームページ www.tokyo-midtown.com

東京ミッドタウンではお客様と従業員の安全・安心を第一に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでおります。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/news/5054/>

本件取材に関する報道関係の方のお問い合わせ先 / 東京ミッドタウン PR 担当

臼井、田中、俵田 TEL: 03-3475-3141 / tm-pr@tokyo-midtown.co.jp (東京ミッドタウンマネジメント株式会社)

高橋、高木、小笠原 TEL: 080-6951-6824 / midtown_pr@prap.co.jp (株式会社プラップジャパン)